

# 第7回 N I E帯広・十勝セミナー 実践発表資料

日 時 平成21年2月14日(土)  
 場 所 北海道新聞社帯広支社  
 発表者 音更町立音更小学校 教諭 山田 圭介

## 《初めてのN I E》

### 1 はじめに

数名の先生方より新聞教育について勧められて「十勝新聞教育研究会」のお仲間に入れていただき、3年が過ぎようとしています。初めの2年間は、大変申し訳ないことに、研究会等へほとんど参加することもなくおりました。それが、ひょんなことから本校がN I E指定校になってしまい、どうしようかと困りながらも、多くの諸先輩方のアドバイスや過去の素晴らしい実践などをもとに、半年間やってきました。つたない実践発表ではありますが、今後に生かしていきたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



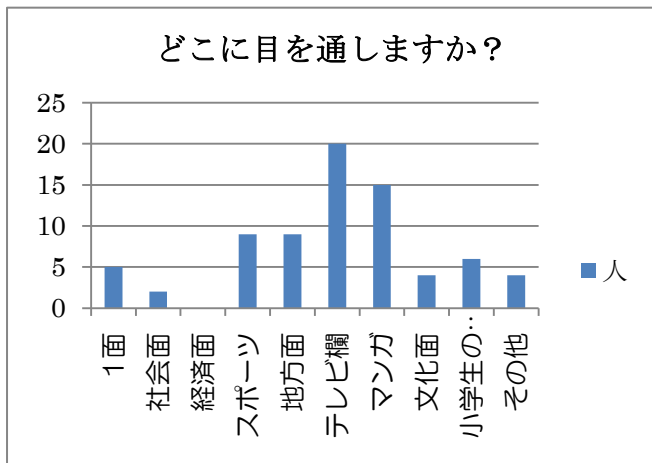
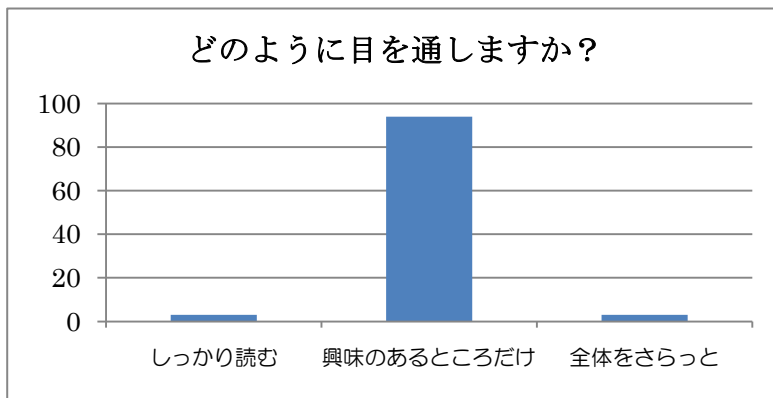
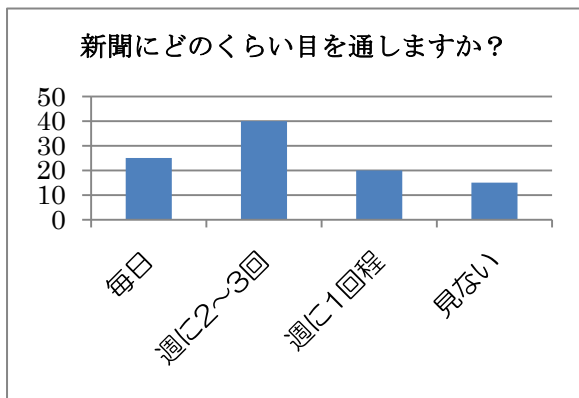
### 2 音更小学校での取り組み

#### 1) 5学年での取り組みについて

##### ①最初は・・・

今年度は、初の試みと言うこともあって、まずは昨年度1月の職員会議で提案。指定校として応募することを承認していただき、「児童が新聞に親しむこと」をテーマにゆっくりと取り組んでいくことで職員の理解を得ました。初めは、担任している5学年でのスタートです。

2008年7月に行った事前アンケートの結果では・・・



アンケートの結果からは、新聞に親しんでいる様子は、全くうかがえませんでした。  
 本校5学年の児童は、とても元気で明るく、活発な児童が多く見られ、雰囲気の良い学年です。反面、小さなトラブルが絶えなかったり、集中して学習できない児童が見られたり、発達段階よりも幼い行動が多く見られました。ですから、まずは「新聞に親しませる(好きにさせる・見る習慣をつける)」、「新聞に目を通す時間を作る(少しの時間、集中する時間を作る)」というところから始めようということになりました。

## ②5学年の取り組み

### 【新聞に目を通そう！】

まずは、玄関に新聞を閲覧できる長机を置き、新聞係に毎日配達される新聞を綴じさせ、「気になった時に見て～！」といった言葉がけから始めました。教師側から「今日はこんなニュースがあったよ～」と切り抜いた写真を見せたり、小学生が興味を持ちそうなニュース(小学生が関わる記事、トップニュース、ゲームやテレビ・芸能ネタなど)を紹介したりしました。これが1ヶ月ほど続きました。

次に新聞を少しずつ活用するところへ・・・

### 【新聞スクラップ】

新聞を置くようになってから1ヶ月、毎日、新聞に目を通す児童が7割強になってきたことから、新聞スクラップをやり始めました。気になったニュースがあったら、それを切り取って専用の用紙に添付し、コメントを書くこととしました。専用の用紙は、3種類用意しました。①コメントの書き方が詳細に書かれているもの(日時、新聞名、記事の内容、自分の考えなど)、②罫線のみ入っているもの、③書き方指定のない白紙、その3種類を用意して、個々の段階に応じて選択できるようにしました。また・・・

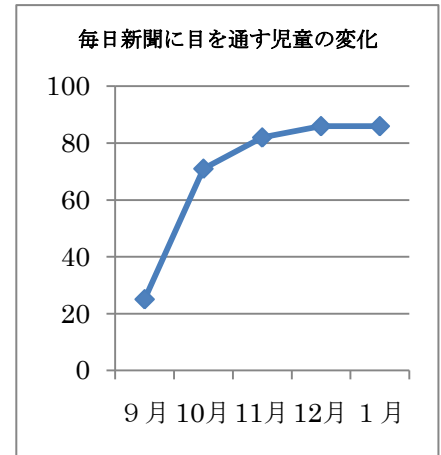
“その日の新聞は切ってはいけない”

“専用のカッターを使う(新聞紙が1枚だけ切れるものを用意)”

“自分の使う記事だけ切り取る” “コメントの書き込み方” など

スクラップの方法や約束事をしっかりと確認しました。できたスクラップは、廊下の掲示板に掲示し、どの子も見られるようにしました。

せっかく作ったスクラップですので、発表する機会を設けました。その日の日直は、朝の会の「気になるニュースコーナー」で発表しました。また、みんなに紹介したいニュースは、帰りの会や月に1～2度発表の機会を作って発表することにしました。そのうち、発表したニュースに対して「どうしてガソリンが高くなるの?」、「白クマの性別ってどうやって調べるの?」などの質問が出るようになり、子どもたちの活動は質問に答えるためにコンピュータや図書館を利用して調べたり、自分のわからない言葉を辞書などで調べたりということまで広がっていきました。



### 【新聞作り】

生きた教材「新聞」が毎日届くのですから、「新聞を書いてみたい」という思いを子どもたちが持つのは自然なことでしょう。10月から、「新聞作り」に取り組んでいきました。

第1弾は「稲作新聞」。春から社会科で取り組んできた稲作のことを新聞にしました。十勝川温泉の水田で田植えをしたことや、稲作の生育観察のこと、米の収穫のことなどを新聞の記事としてまとめました。第1弾でこだわったのは、「見出しの書き方」です。各紙を参考にしながら、自分の印象に残った記事、書きたい記事の見出しを大きく見やすく書いたり、その他の記事についても見出しの形や囲み、縦横の使い方を工夫したり、見やすい新聞ができたと思います。

第2弾は「宿泊学習新聞」。宿泊学習で学んだことや、思い出を新聞にしました。ここで重点にしたことは、「読みやすい言葉」。内容はだいたいどの子も同じになることから、どの子もわかっている内容をおうちの人に上手に伝える(相手意識)ことを意識させて書かせたかったので、言葉にこだわりました。国語「コラムを書こう」で学習したことを生かし、要約された文章が書けることを目指して記事を書いてもらいました。



第3弾は「京都新聞」。京都市立葛野小学校との交流がきっかけとなり、社会科「わたしたちの環境と国土」の発展学習として取り組みました。第3弾は4人一組での新聞作りに挑戦です。ですから、ここでポイントに置いたのが「レイアウト」でした。例によって各紙を用いてレイアウトについて学習しました。記事の囲み方や写真やイラストの入れ方、どの記事をメインに置くかなど、記事の範囲がわかりやすいようなレイアウトを指導しました。4人で話しながら、協力し合って新聞作りをしていました。

【授業への活用】

以下の表にあるように、国語、社会、算数、理科、家庭の時間に新聞を活用しました(活用を計画しています)。紙面出でてくる言葉やグラフを利用したほか、言葉の使い方や表現の工夫、違う新聞社同士の比較など、新聞を身近なものに感じられるよう、たびたび用いていきました。また、たまった古新聞の処分の方法や、再利用の流れなども家庭科で学習しました。



『京都のことを知ろう』

○目標：京都について調べることや新聞作りを通して、京都と北海道との違いに気づくと共に、地域によって特性があることを理解することができる。

時	学習内容	教師の支援
1	オリエンテーション 「京都の新聞と北海道新聞の1面が違うのはなぜ？」 ↓ 「京都のことを調べてみよう！」	新聞の用意
2	カテゴリー分け ①自然グループ ②特産物グループ ③歴史グループ ④くらしグループ	京都を紹介するスライドで調べる内容をについてイメージをふくらませる。
3～5	調べ学習 コンピュータや本、新聞を用いて、カテゴリーごとに京都のことを調べる。	サイトや本の紹介 調べる内容をある程度絞り込むよう助言。
6～8	新聞作り 各カテゴリーから1名ずつが集まった4名の班で新聞作りを進める。	既習事項(見出し・記事の書き方)の確認。 レイアウトの手法について指導。
9	発表会 各班の新聞に対して、良かった点や改善した方が良い点について意見を出し合う。	評価の観点の明確化。

【朝の学習】

本校では、朝の15分間に朝学習の時間が設定されており、その時間を用いて新聞を使った学習も行いました。その週に気になったニュースを私がスクラップして、分からないような用語について説明を書き加え、それを子どもたちに配布して、その記事に対する感想を書いてもらったり、その記事に出てくる言葉や派生する内容を調べたりする学習を週1回行いました。また、その活動が早く終わった子は、新聞スクラップをする時間として利用していました。




【長期休業中の課題として】



冬季休業中に、「新聞スクラップ」という課題を出しました。ノートやスクラップ帳にやってもよし、所定の用紙にやってもよし。普段学校でやっているのと同様に、感想や調べたことを書いてもらいました。長期休業明け、どの子も創意工夫をこらしたスクラップを持って登校してきました。いつも以上に時間をかけることもできたり、おうちの人からアイデアをもらうこともできたりして、今まで以上の手の込んだスクラップが多く見られました。新聞スクラップが好きな児童は全体の9割を超え、新聞に対する愛着を感じました。たくさん出された新聞スクラップ。量、質ともに、数を重ねることで向上していくことを知らされました。

《新聞を用いた学習活動の概要》

月	授業への活用	新聞作り	スクラップ
9	新聞に目を通そう！		
10	㊤わたしたちの生活と情報 新聞作りについての学習 十勝毎日新聞って？	㊤「稲作新聞」作り 見出しの大切さ	☆気になった時にやってみよう ・用紙を学級に置いて自由に ・感想を書こう ↓ ☆発表しよう① 朝の会で日直が発表 ・内容を要約して話そう ↓ ☆発表しよう② 気になったニュースを発表会 で発表 ・調べて話そう ・質問に答えよう ↓ ☆発表しよう③ 友達のスクラップに自分の意 見を！
11	㊤コラムを書こう 社説を読んでみよう ㊤気温の変化・天気の変化 天気図を読もう	㊤「宿泊学習新聞」作り 読みやすい言葉で	
12			
1	㊤比べ方を考えよう 新聞に出てくる百分率や割 合、歩合を見てみよう	㊤「京都新聞」作り 読みやすいレイアウト 協力して作ろう	
2	㊤日本語について調べよう 新聞の中の言葉を調べよう ㊤わたしたちの国土と環境 京都新聞から調べてみよう		
3	㊤身の周りを気持ちよくしよう 古新聞のゆくえと使い方		

2) 他学年の取り組み

【朝の会での取り組み】3・4・6学年

朝の会に「ニュースコーナー」を設けて、その日の日直が発表をするもの。学級日誌や所定の用紙などに、新聞からニュースを探して記事の内容を書き込み、それを発表するのです。緊張感の中で発表するよい機会であるとともに、ニュースを準備するために新聞へ目を通す一つのきっかけとなっています。

【国語～「スキルタイム」での活用】1・2・3・4学年



校内研修のテーマ「話す力・聞く力」の伸長を目的に行われているスキルタイム。授業の初めの5～10分間に、「話す力・聞く力」の基礎・基本を培うための学習に取り組んでいます。そのスキルタイムで行われているのが、「文字もじゲーム」と「見出しシートゲーム」。低学年では「文字もじゲーム」に取り組んでいます。文字を指定して、それを新聞中から探すゲームです。最初は「あ」「う」などのひらがなやカタカナから始まり、今では漢字を探すところまでいきました。文字の定着が早くなったり、おうちで新聞に目を通したりする児童が増えているそうです。中学年では「見出しシートゲーム」に取り組んでいます。注目の新聞記事を教師が読み、その記事の見出しを子どもたちが考えるという活動です。話しを聞く力と、記事の内容を要約する力がついてきたようです。

【新聞作り】全学年

国語の教材や、学習や行事のまとめとして行われる「新聞作り」に、各紙を利用してもらっています。新聞の文字の配列や、見出しの書き方、レイアウトの方法など、新聞紙を参考にしながら取り組むことにより、とても見やすい新聞ができあがっています。

2学年では、国語の学習で「動物新聞作り」に取り組みました。初めに新聞社での新聞の作り方を簡単に学習したことから、新聞作りに高い関心を示し、記事集めに奔走したり、新聞の作りにこだわったりする姿が見られました。専用の模造紙を使用したことから、レイアウトが非常に上手いき、とても上手な新聞が完成しました。



### 3 成果と課題

「NIEを始めましょう！」と呼びかけてから6ヶ月。新聞に親しむ子どもたちの姿を様々な場面で目にするようになってきました。登校してすぐに新聞をめくる子がいたり、休み時間に新聞スクラップの記事を探す子どもたちがいたり、新聞を身近な存在として感じている子どもが増えてきました。当面の目標であった「児童が新聞に親しむ」というテーマは、達成しつつあります。また、様々な活動を通じて、新聞へのアプローチの方法を身につけていったことから、目の通し方も「見る」から「読む」に変わってきているようです。読んでいるページも、今まで以上に増えていることもわかります。興味を持って色々なページに目を通せるだけの基盤が備わったり、必要に応じてページを選択することもできるようになってきているのでしょう。

今後の活動として、今年度5学年で取り組んだ内容を校内研修等で取り上げてもらい、他学年でも継続して行えそうな取り組みについて話し合いをもち、更に多くの学年で取り組めるよう、活動の広がりを考えています。また、新聞の内容を題材にした授業まではたどりつけなかったという「やり残し」もあります。

次年度は他校の実践を参考にしながら、更に子どもたちが興味を持って取り組めるような実践をしていきたいと考えております。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

